

10月26日(月)

誰の言葉を聞きますか？

聖書朗読 ミカ2：6～13

自分につごうの良いことを言うてもらうために、気ままな願いをもって、次々に
教師たちを自分たちのために寄せ集め、
II テモテ4：3

預言者は語ります。それが彼らの仕事です。そして民衆は聞きます。私たちは、
預言者たちが真実を語っていることをどうやって知ることができるでしょうか？
今日の聖書朗読で、ミカは皮肉を込めて、当時の強欲な圧政者たちがどんな預言者
を求めていたかを指摘しています——それは、たくさんのワインとビールを約束し
てくれる預言者です。彼らは正しい預言者たちには口を閉じることを要求しました。

私たちはどんなことを聞きたがるのでしょうか？ どんな預言なら進んで受け
入れるでしょうか？ 今日のテキストのとても興味深いひとつの教えは、聞こうと
望む人々のための、神様の言葉の本来の良さ。ミカが語り掛けた人々は神様の愛の
ある、しかし間違いを正す声を聞くことを拒絶しました。彼らは神様の、命を与える
愛のメッセージを、便利で享樂的な自分を満たすためのメッセージに置き換えま
した。その結果、彼らは神様が与えてくださった地から「棄て去られて」しまいま
した。

この聖書箇所からのミカのメッセージは罪の宣告で終わるものではなく——
希望のメッセージで終わるものです。「打ち破る者」は敬虔な残りの人々を神様の
王国の緑の牧場での人生に導いてくれるでしょう。それこそが、私たちが聞く必要
のある預言です。良い牧者であるイエス様が、私たちが命へと導こうと望んでおら
れるのです。ですから、私たちは主にある預言者のことばを進んで聞こうとしなけ
ればなりません。

讚美歌 II 80

祈り 親愛なる神様、あなたの声を聞くことができるよう、私たちの耳を開いて
ください。私たちが、あなたの導きの良さと、この世の間違った声との違
いを見分けることができるようにしてください。私の人生が、イエス様を
自分の牧者として、その導きに従うものでありますように。

イエス様の御名により。アーメン。

アール・D・ラヴェンダー
テネシー州 ブレントウッド

今日のカ

2020年10月26日～11月1日

翻訳 鈴木 慈久

編集 野口恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

10月27日(火)

主よ、いつまでですか？

聖書朗読 ハバクク 1：1～4

主よ、私が助けを求めて叫んでいますのに、あなたはいつまで、聞いてくださらないのですか。
ハバクク 1：2

同じような祈りをしたことがありますか？ あなたは配偶者や、子どもや、難しい人間関係、あるいは自分の病に関して祈ります。あなたは神様が自分に望んでおられると信じていることをします。それでも何も起こりそうにありません。ハバクク書には、神様に対する問いと反抗をもってもがく信仰者の姿があります。彼はただ、世界で起こっていることに対して神様が何もしないように思えて、また無関心であるように見えてるのです。

おそらく、あなたも彼のもがきが理解できるでしょう。身の周りには、あまりに多くの衝突と苦痛があるのを見ることができるからです。もしかしたらあなたもそのいくつかを経験しているかもしれません。もちろん、神様は何かをしてくさるでしょう。あなたは神様の沈黙に混乱し、当惑するかもしれません。あなたは神様がしようとしているかもしれない何かを思い巡らすかもしれません。あなたは沈黙するか祈ることをやめたいと思うかもしれません。

人生はしばしば大変——とても大変なものです。それでも、神様は忠実な方であり、私たちがその忠実さを信じるように招いてくださっています。あなたはそれをしますか？

聖歌 472

祈り 親愛なるお父様、私たちのうちの幾人かは人生の待合室にいます。私たちが祈り、待っている時、どうか日々をただ乗り越える力をお与えください。私たちが——私が、あなたを信じていられますように。

イエス様の御名により。アーメン。

ジム・マーティン
テネシー州メンフィス

10月28日(水)

煌めきましょう！

聖書朗読 マタイ 4：12～17

イエスはまた彼らに語って言われた。わたしは、世の光です。わたしに従う者は、決してやみの中を歩むことがなく、いのちの光を持つのです。ヨハネ 8：12

私はなんと忘れっぽいのでしょうか！ 私たちは数日、暗く、雲に覆われた日々を経験しましたが、窓越しに家を囲む木々を見たときに、私は明るい朝の美しさに驚嘆させられました。青い空、常緑植物の深い色、しかしそこにあるすべてのものの中で最大のものは光でした！ 特に魅惑的だったのは、その朝早くに霧が残した水の滴が、太陽の輝きを反射していたことです。

この情景は、神様の偉大な御子の光を反映して生活している人々を見ることの素晴らしさを思い起こさせてくれました。暗闇の世界で、いのちの光を注ぐ生き方をしている人々を見ることはなんとという祝福でしょう。彼らは主の愛と仕える心によって輝いているのです。

彼らは、神様の光によって煌めいているのです！

讃美歌 ひかり、ひかり (こどもさんびか)

祈り 主よ、世界にとってあなたの光と愛の反映を見ることがどれほど重要なことであるかを、私が覚えていられるように助けてください。どうか私の上に輝いて、私がそれらの光の一つとなることができるように助けてください。

イエス様の御名により。アーメン。

シンシア・サザーリン
アーカンソー州 クイットマン

10月29日(木)

賢くあれ

聖書朗読 マタイ7:24~29

だから、わたしのこれらのことばを聞いてそれを行なう者はみな、岩の上に自分の家を建てた賢い人に比べることができます。 マタイ7:24

ミシシッピ州のロドニーという町は1800年代半ばに繁栄していました。ミシシッピ川が町の東端のちょうど近くに来ており、ロドニーはセントルイスとニューオーリンズの間で最も忙しい港でした。三十を超える店が裕福な綿花の農園主に食事を提供していました。二隻の蒸気船——ロバート・E・リーとナッチェズ——が港に頻繁に出入りしました。マーク・トウェインやアンドリュー・ジャクソンも訪問しました。ザッカーリー・テイラー将軍が傍らに農園を買いました。

そのとき奇妙なことが起こりました。砂州の沈下がミシシッピ川の流域の急変を引き起こし、川が2マイル以上も西に移動してしまいました。ロドニーは「見捨てられて」しまったのです。

堤防は閉じられました。映画館は閉館しました。教会は畳まれました。人々は引越していきました。何一つ残されませんでした。テイラーの農園は川に沈みしました。

今では、ロドニーはゴーストタウンです。ローマの遺跡のように、大理石の柱が何もないところにそびえています。かつては偉大だった建物にももう屋根はありません。

イエス様は家を砂の上に建てた人と岩の上に建てた人のたとえ話をされました。そのとき雨が降りました。ロドニーのように、土台のない家は押し流されてしまいました。

どんなときも、あなたの人生の運命の川はその道筋を変えることがあります。あるいは雨がふることもあるでしょう。賢い人は自分の家を岩の上に建てることでしょう。

讚美歌 賢い人と愚かな人(こどもさんびか)

祈り 全ての主よ、私たちにキリストにある目的と豊かさの土台を与えてくださることに感謝します。私たちのうちに、あなたの御心を働かせてください。イエス様の御名により。アーメン。

フィリップ・パッターソン
オクラホマ州 エドモンド

10月30日(金)

神様に焦点を合わせる

聖書朗読 マタイ12:38~42

この民の知恵ある者の知恵は滅び、悟りある者の悟りは隠される。 イザヤ29:14

パリサイ人は神の律法を知り、それを完璧に守るように主張しましたが、彼らは神様の御子を知ることはありませんでした。イエス様が男性の手を癒し悪霊を退けた後に、どうして彼らはしるしを求めようなことができたのでしょうか？ 彼らはメシアがどんな方かということについて自分たち自身の見方を持っていて、イエス様は彼らの考える人物像に適合しなかったのです。

私はいつも何かを探していながら、それを見ていないようです——眼鏡、調理道具、鍵、携帯電話。それはいつも、私が日常生活においてなにが最も重要であるかに焦点をあてられていないために起こることであり、そのために私は先のことを考えずに鍵や電話をどこかに置いたり、落としてしまうのです。

私は人生においてイエス様に焦点を当てているのでしょうか？ 心配やイベントなど、この世の物ごとに心を乱されすぎていて、イエス様に気付いたり、イエス様をしつかりと見ることができなくなってはいないのでしょうか？

讚美歌 II 41

祈り 神様、私がたくさんのお栄光や恵みのうちにあなたの御子を見るようにしてください。イエス様の光が私の内に、そして私を通して輝き、イエス様を本当に必要としている人に届くように祈ります。

イエス様の御名により。アーメン。

アニータ・プライス
テキサス州 ラボック

10月31日(土)

ゴールから目を逸らさないで

聖書朗読 マタイ14:22~33

信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。

ヘブル1:22

これは、競走選手が最初に学ぶことの一つです。ゴールラインから目を離さないこと。いつも周りに目をやっていると、速度が落ちてしまいます。あなたが注意深い人でなかったとしたら、自分のレーンから外れてしまって失格になることすらあるかもしれません。

クリスチャンとしてのレースを走るときも同じです。私たちのゴールは神の御国の神様とイエス様にあります。ですから、イエス様が私たちの先に行って神の右に着座されている、そのゴールラインから目を離さないようにしましょう。

この世の物事によって道を逸らされないようにしましょう。焦点を外してしまうのはあまりにも簡単なことです。ペテロがイエス様のもとに歩いていったときの話を思い出しましょう——水の上を！ しかし彼は風と波を見て怖くなってしまいました。なぜなら彼が波を見てイエス様を見ていなかったからです。

このことは現代においても真実です。この世の問題に目を取られてしまうと、あなたはイエス様を視界から失ってしまいます。そのことに気付く前に、あなたもまた沈んでしまっていることでしょう。

ですから、今日、自分たちがイエス様に目を向け続けて、心を守り、発することばに気をつけましょう。ゴールラインを視界にとらえるのです。

イエス様に、目を向け続けましょう。

讃美歌 II 45

祈り お父様、私たちは導かれるどこにおいてもあなたの御子に従います。イエス様が私たちをあなたのいる家に導いてくださるまで、私たちがこの世の妨害を避けることができるように助けてください。

私たちが従うただ一人のお方の名によって。アーメン。

スティーブ・リッジエル

テキサス州 アビリン

11月1日(日)

私たちの不信仰をお助けください！

聖書朗読 マタイ15:29~38

彼らをイエスの足もとに置いたので、イエスは彼らをおいやすになった。

マタイ15:30

イエス様が荒れた山の中ほどに座していると、大勢の群衆が集まってイエス様に手を伸ばしました。彼らは大なる労力を使って、不治の症状を抱えるたくさんの人を運んできて、イエス様の足もとに横たえました。彼らはイエス様が病人を癒されたという話を聞いてきたのです。

奇跡の3日間——そしてイエス様が全員を癒されたのを見て、彼らは驚きつつも神様をあがめました！ 実際に歩き回って彼ら全員を見て癒すというのは、驚くべきことです。私たちはこの奇跡を見た人々の反応が良く分かります！

私たちはイエス様の愛と力を信じるようになったとはいえ、欠けのある世界に生きています。もしかしたら私たちの多くは、人生におけるあらゆる損害、被害、ダメージというものが、好転することを単純にイメージすることができないかもしれません。しかし、私たちは、苦しんでいる人々が神様に頼って忍耐力を得るように祈ることができ、またあらゆる状況で神様をあがめ続けることができるように祈ることができます。

祈りは私たちが受け取った力強い恩恵です。その贈り物を用いることで私たちは、神様が私たちに祈ることを求めておられ、また神様が祈りを聞いてくださるという確信をすることによって成長してきます。「そうではない」や「今はまだその時ではない」といった返答を理解するのは難しいことではありますが、私たちは待っているうちに霊的に造りかえられ、成長することができるのです。

讃美歌 520

祈り 愛するお父様、私たちの信仰を成長させ、私たちがもっと完全にあなたの御心を理解できない時であっても受け入れることができるようにしてください。私たちがあなたのお働きにより早く気が付き、あなたに栄光を帰すことができますように。

イエス様の御名により。アーメン。

ノーマ・プリヴィット

カリフォルニア州 サウザンドオークス